

【出題方針】

本学建築学科の小論文では、専門的な知識の有無を問うのではなく、建築に対する興味や関心の度合い、自分の考えを整理して伝える力を見たいと考えています。

出題されるテーマは、日常生活や身近な経験と結びつけて考える内容です。たとえば、「これからの社会を考えた住まい」といったデザイン的な視点、「住宅からなくなったら困ると感じる設備」といった環境・設備的な視点、「自然災害から命を守るために必要な備え」といった安全を視点としたものなどです。

小論文では、観察力、洞察力、表現力を総合的に評価します。建築に興味をもち、自宅や学校などの日常の生活空間に対する意識や、建築に関する社会的な話題に対する意識を、日頃から持つことが大切です。

【評価の観点】

- 問いを正確に読み取ること  
出題文の意図をしっかりと理解することが最も大切です。「何について」「どのように」書くのかを明確にしてから書き始めましょう。
- 文章を明確に書けること  
文章の始まりと最後に整合性があるか、文章の基本に注意しましょう。文体は「です・ます調」で統一し、読み手に伝わる文章表現を心掛けましょう。また、誤字脱字がないかも確認しましょう。最後まで丁寧に書く姿勢も評価の対象になります。
- 自分の言葉で表現すること  
専門用語を用いる必要はありません。日頃から持っている建築への関心を、自分の言葉で丁寧に書くことが大切です。
- 自分の考えを把握すること  
自分の考えを把握する力も必要です。そう考えた理由やそれぞれの考えの共通点など、自分の考えに新たな発見を見出すことも大切です。

【2026年度 専願志選抜 小論文 出題意図】

建築への日頃からの興味や関心をみるために、「好きだった場所」について、経験した学校から思い出してもらい、三つの場所を選んで具体的に説明して頂きました。また、自分はどのような場所を好きになるのか、それぞれの説明から共通点を見出し、自分の感じ方に対する新たな発見ができたかを測りました。